



2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス
 コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 貴將
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山河 和博
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 052-262-4499

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	11,559	1.5	992	13.3	942	24.0	653	68.0
2020年9月期第3四半期	11,387	8.3	875	52.8	760	66.3	388	43.2

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 746百万円 (151.9%) 2020年9月期第3四半期 296百万円 (259.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	63.36	62.82
2020年9月期第3四半期	37.88	37.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	26,976	4,236	14.3
2020年9月期	27,972	3,748	12.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 3,862百万円 2020年9月期 3,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		12.50		12.50	25.00
2021年9月期		12.50			
2021年9月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,988	4.4	1,222	18.8	1,127	15.7	587	23.8	57.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期3Q	10,956,500 株	2020年9月期	10,956,500 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年9月期3Q	643,167 株	2020年9月期	655,167 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年9月期3Q	10,310,520 株	2020年9月期3Q	10,267,143 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、政府による経済対策等により持ち直しの動きが見られましたが、さらなる感染拡大により緊急事態宣言が発出されるなど、先行き不透明な状況にあります。

このような経済環境のもとで、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は11,559百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は992百万円（前年同四半期比13.3%増）、経常利益は942百万円（前年同四半期比24.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は653百万円（前年同四半期比68.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①再生可能エネルギー事業

本事業におきましては、2020年6月末日に3発電所を取得しており、現在太陽光発電所15ヶ所（内1ヶ所は子会社のエスケーアイ開発株式会社が運営）が順調に稼働しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,789百万円（前年同四半期比12.2%増）、営業利益は825百万円（前年同四半期比27.1%増）となりました。

②移動体通信機器販売関連事業

本事業におきましては、2019年10月施行の電気通信事業法の改正に伴い、端末代金の値引きに関する規制が示されました。2020年3月下旬には都市部を中心に高速・大容量が特徴の次世代通信規格「5G」のサービスが開始されましたが、各社から廉価版の携帯の発売も開始され価格競争が激化しております。このような事業環境の中、当社グループは、効率的な店舗運営を目的とした店舗出店のドミナント化を推進し、近接店舗との連携を強化するとともに、auショップの代理店撤退による経営資源の集中を図りました。しかしながら、携帯電話利用者の使用期間が長期化する他、新型コロナウイルス感染防止の一環として、来店者並びに従業員の安全と健康の維持を目的とした予約制の導入を行い、販売台数は新規・機種変更を合わせ70,590台（前年同四半期比5.3%増）となりましたが、売上高は7,927百万円（前年同四半期比6.4%減）、営業利益は459百万円（前年同四半期比47.4%減）となりました。

③保険代理店事業

本事業におきましては、コールセンターを拠点とした保険代理店事業を子会社である株式会社セントラルパートナーズが複数の保険会社の商品を取り扱い展開しております。当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染防止のため、在宅勤務を推進しコールセンターの効率性を高めるとともに、カタログ販売会社と連携を図り当社DMを同封する等の営業施策を講じ収益力を向上させました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は880百万円（前年同四半期比43.2%増）、営業利益は79百万円（前年同四半期は135百万円の営業損失）となりました。

④葬祭事業

本事業におきましては、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社において、葬儀会館ティア9会館の運営を行っております。新型コロナウイルス感染防止の影響を受け、葬儀の小規模化が一層進み、会食も行わないなど、低価格化の傾向にあり、1件あたりの単価の低下が見られる反面、「低価格でも簡略化しないお葬式を」の広告効果もあり、葬儀件数は、前期と比較し伸びております。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は701百万円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益は53百万円（前年同四半期比120.9%増）となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

本事業におきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で2007年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市中種区にオープン後、稼働率が順調に推移しておりますが、今後も駐車場周辺の各施設の営業時間短縮等が予想されるため稼働率が低下し、売上減少に繋がりましたが、経費削減に努めた結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は55百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は11百万円（前年同四半期比45.9%増）となりました。

⑥ビジネスソリューション事業

本事業におきましては、子会社であるエスケーアイフロンティア株式会社を2018年11月に設立後、新電力と携帯電話の法人市場への販売を積極的に行い軌道に乗って参りましたが、新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言をはじめとする、政府、関係省庁の要請等を注視しつつ、慎重に営業活動を推進しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は216百万円（前年同四半期比359.5%増）、営業利益は32百万円（前年同四半期は22百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は26,976百万円となり、前連結会計年度末の資産合計27,972百万円と比べ995百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が332百万円、売掛金が120百万円、機械装置及び運搬具が556百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は22,740百万円となり、前連結会計年度末の負債合計24,223百万円と比べ1,483百万円減少しました。これは主に、長期借入金が1,085百万円、未払法人税等が345百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,236百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計3,748百万円と比べ487百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が384百万円、その他有価証券評価差額金が64百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、2020年11月16日に発表しました「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示するものであります。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,001,373	4,668,869
売掛金	2,520,343	2,399,695
商品	404,359	603,679
その他	195,356	203,484
流動資産合計	8,121,432	7,875,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,560,466	2,443,762
機械装置及び運搬具（純額）	10,262,227	9,725,165
土地	3,662,988	3,662,988
その他（純額）	71,868	59,885
有形固定資産合計	16,557,550	15,891,802
無形固定資産		
のれん	1,254,410	1,190,446
その他	495,995	469,317
無形固定資産合計	1,750,405	1,659,763
投資その他の資産		
その他	1,550,515	1,557,305
貸倒引当金	△7,884	△7,884
投資その他の資産合計	1,542,631	1,549,421
固定資産合計	19,850,587	19,100,987
資産合計	27,972,020	26,976,717
負債の部		
流動負債		
買掛金	583,908	600,084
短期借入金	4,490,000	4,590,000
1年内償還予定の社債	420,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	1,391,539	1,400,666
未払法人税等	404,881	59,725
賞与引当金	144,142	70,910
その他	737,445	837,965
流動負債合計	8,171,916	7,929,351
固定負債		
社債	725,000	540,000
長期借入金	14,408,318	13,323,177
繰延税金負債	31,030	59,246
役員退職慰労引当金	165,400	189,610
退職給付に係る負債	125,517	128,902
資産除去債務	304,109	298,928
その他	291,835	270,823
固定負債合計	16,051,210	14,810,688
負債合計	24,223,126	22,740,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	2,661,883	3,046,018
自己株式	△839,158	△823,788
株主資本合計	3,255,062	3,654,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,123	373,674
繰延ヘッジ損益	△180,186	△165,996
その他の包括利益累計額合計	128,936	207,677
新株予約権	7,814	7,336
非支配株主持分	357,080	367,095
純資産合計	3,748,893	4,236,677
負債純資産合計	27,972,020	26,976,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	11,387,210	11,559,635
売上原価	6,937,594	7,019,608
売上総利益	4,449,616	4,540,027
販売費及び一般管理費	3,573,969	3,547,912
営業利益	875,647	992,114
営業外収益		
受取利息	128	26
受取配当金	27,424	27,567
受取保険金	14,339	16,550
投資有価証券売却益	854	—
営業支援金収入	30,000	73,320
その他	31,664	25,463
営業外収益合計	104,411	142,927
営業外費用		
支払利息	140,485	148,524
融資手数料	40,963	32,364
社債発行費	9,711	—
その他	28,273	11,285
営業外費用合計	219,433	192,174
経常利益	760,625	942,868
特別利益		
固定資産売却益	—	19,842
合意解約金	—	100,000
特別利益合計	—	119,842
特別損失		
固定資産売却損	—	2,705
固定資産除却損	11,124	9,098
ゴルフ会員権売却損	—	17,230
投資有価証券評価損	23,038	—
減損損失	30,689	24,942
特別損失合計	64,852	53,976
税金等調整前四半期純利益	695,773	1,008,733
法人税等	358,680	340,639
四半期純利益	337,092	668,094
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△51,876	14,803
親会社株主に帰属する四半期純利益	388,969	653,290

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年10月1日 至 2021年6月30日）
四半期純利益	337,092	668,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,197	64,551
繰延ヘッジ損益	27,547	14,189
その他の包括利益合計	△40,650	78,740
四半期包括利益	296,442	746,835
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,319	732,031
非支配株主に係る四半期包括利益	△51,876	14,803

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売 関連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	ビジネスソ リューション 事業	計		
売上高									
外部顧 客への 売上高	1,595,194	8,466,490	614,647	619,958	43,889	47,028	11,387,210	—	11,387,210
セグメ ント間 の内部 売上高 又は振 替高	—	—	—	—	11,252	—	11,252	△11,252	—
計	1,595,194	8,466,490	614,647	619,958	55,142	47,028	11,398,462	△11,252	11,387,210
セグメン ト利益 又は損失 (△)	649,781	873,584	△135,380	24,201	7,886	△22,380	1,397,691	△522,044	875,647

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△522,044千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△528,533千円及び、その他の調整額6,489千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりであります。

「再生可能エネルギー事業」において、当第3四半期連結会計期間に、エスケーアイ千葉香取発電所、エスケーアイ茨城牛久発電所、エスケーアイ仙台青葉発電所の事業を譲り受けた結果、セグメント資産が2,350,000千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「再生可能エネルギー事業」セグメントにおいて、千葉県香取市、茨城県牛久市及び宮城県仙台市の太陽光発電設備及び土地購入に伴い売電の権利を譲受けたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては631,745千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売 関連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	ビジネスソ リューション 事業	計		
売上高									
外部顧 客への 売上高	1,789,428	7,927,308	880,341	701,748	44,697	216,111	11,559,635	—	11,559,635
セグメン ト間の 内部 売上高 又は振 替高	—	—	—	—	10,312	—	10,312	△10,312	—
計	1,789,428	7,927,308	880,341	701,748	55,009	216,111	11,569,948	△10,312	11,559,635
セグメン ト利益	825,852	459,451	79,734	53,456	11,508	32,351	1,462,356	△470,241	992,114

(注) 1. セグメント利益の調整額△470,241千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△484,647千円及び、その他の調整額14,406千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。